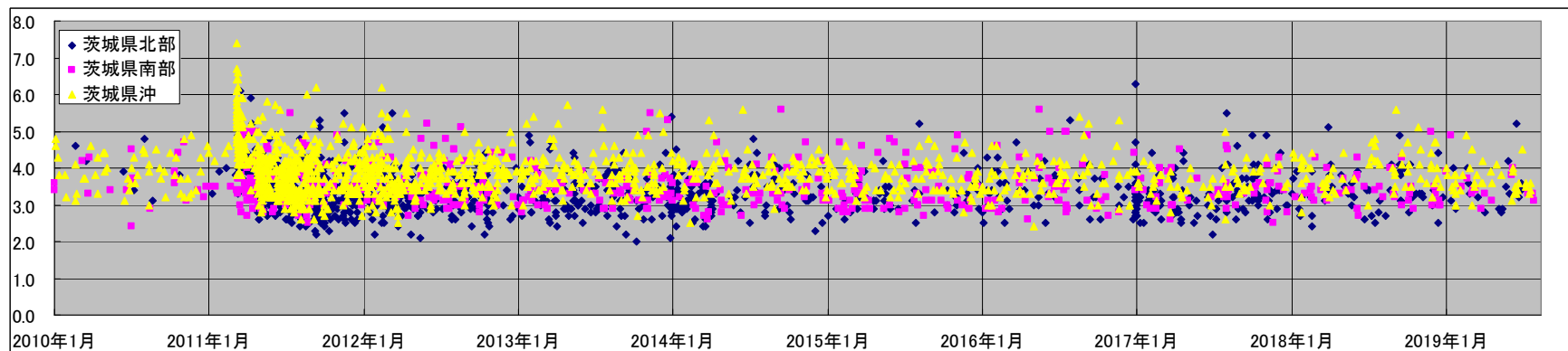


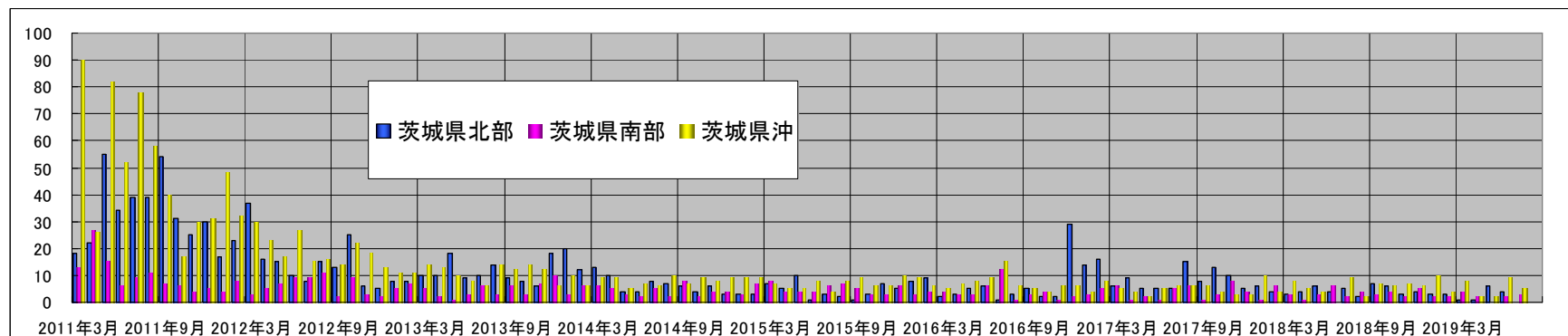
茨城県と茨城県沖を震源とする地震

作成 2019/08/08



注 1. 本資料は気象庁が発表しているデータを基に作成したグラフです。なお、震源域とした茨城県沖の定義については調査していません。

注 2. 縦軸はマグニチュード、横軸は日付で 2010 年 1 月 4 日を起点としましたが、この日の選定には意味がありません。



注 3. このグラフは 3.11 以降の月ごとの地震発生回数を表しています。縦軸は一ヶ月の地震発生回数の単なる総和です。

茨城県北部の 7 月の地震回数はゼロでした。この北部の震源密集地帯の北緯 36.7、東経 140.6 は日立鉱床の在る所にほぼ一致します。この鉱床は約 5.3 億前（カンブリア紀）のもので、日本最古の鉱床であることが 2014 年 9 月に明らかにされました。この付近には褶曲した地層も見られるようです。http://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20140903/ また、本コーナーの 12. 2017 年 1 月 1 日にも記しましたように、2011 年の震災により大きく変形した位置にも接近しています。本日 8 月 8 日ここから採取された新鉱物「日立鉱」が発表されました！